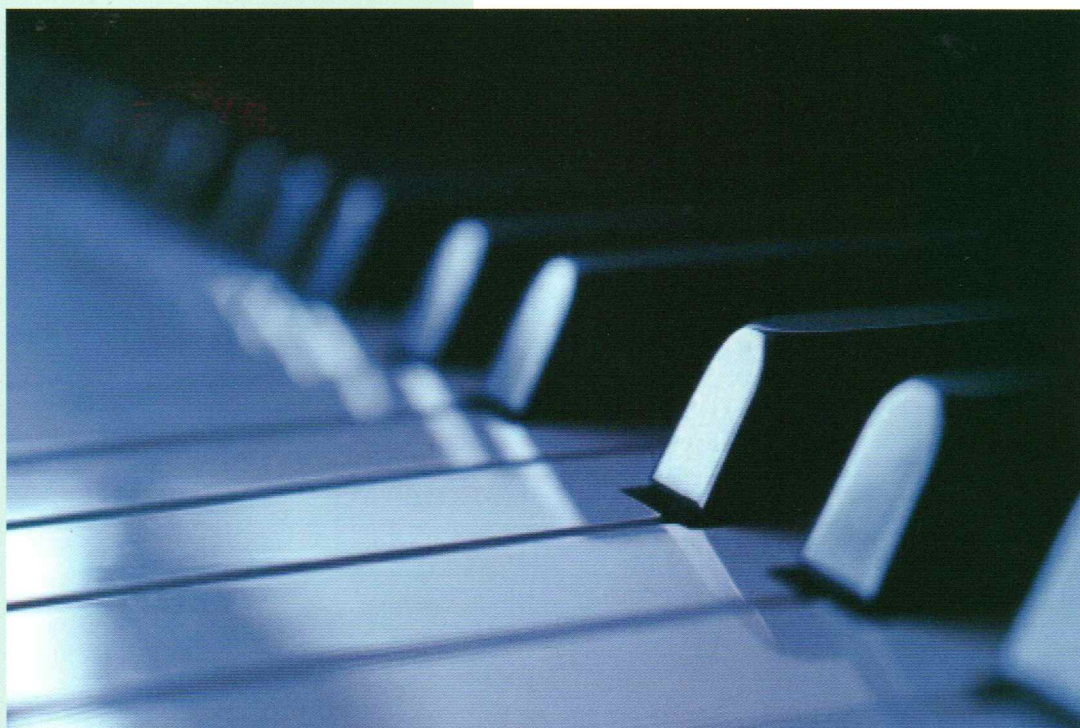




オーケストラとの
夢のステージを目指して！



第1回京田辺市
音楽コンクール

2021年
予選 2月6日(土)、2月7日(日)

2021年
本選(公開) 3月21日(日)

会場：京田辺市中央公民館大ホール

「京田辺市音楽コンクール」主旨と概要

当コンクールは、音楽と向き合い、目標に向かって挑戦することで、成長する喜び、努力する事の大切さ、音楽に対する感動を提供することを目的とする(第1回目はピアノのみ)。各部門金賞受賞者には受賞記念コンサートにて「コンチェルト体験」というオーケストラとの夢のステージを提供し、京田辺市からクラシック音楽の理解と普及を推進し、音楽文化の活性化を図り、音楽を通じたまちづくりの促進に繋げる。

■ 応募資格

お住まいの地域や国籍は問いません。年齢による参加部門は下の表をご覧ください。

■ 部門規定一覧

部門 (2021年3月までの学年です)	演奏曲 制限時間	参加料 (消費税込み)		
		予選	本選	
ソ ロ	未就学児	2分以内の曲	7,000円	9,000円
	小学1・2年生	2分以内の曲	7,000円	9,000円
	小学3・4年生	3分以内の曲	8,000円	10,000円
	小学5・6年生	4分以内の曲	8,000円	10,000円
	中学生	6分以内の曲	9,000円	11,000円
	高校生	8分以内の曲	9,000円	11,000円
	一般A (アマチュア)	10分以内の曲	10,000円	12,000円
	一般P (プロフェッショナル)	10分以内の曲	10,000円	12,000円
デ ュ オ	連弾A (1人は未就学児もしくは小学生)	3分以内の曲	8,000円	10,000円
	連弾B (1人は中学生)	4分以内の曲	9,000円	11,000円
	連弾C (年齢制限なし)	5分以内の曲	10,000円	12,000円

■ 部門規定詳細

- ・一般A部門はどなたでもご参加できます。ただし、ピアノ専攻の学生、ピアノを職業とされている方は一般P部門にご参加ください。
- ・1人で2つの部門にソロ部門は重複して参加することはできません。ただし、デュオ部門はその限りではありません。
- ・演奏順は事前に無作為の抽選で決定し、開催当日に会場で発表します。

■ 演奏曲について

- ・自由曲のみ。ただし、時間制限があります。
- ・制限時間は、弾き始めから弾き終わりまでの時間とします。
- ・演奏曲は楽譜が公刊されているクラシックピアノ曲 (オリジナル) から1曲を選択してください。
- ・リピート記号による繰り返しは省いてもかまいません。
- ・ソナタ、ソナチネ等の複楽章構成の楽曲は、全楽章または単一楽章を1曲とします。
- ・変奏曲の一部を抜粋して1曲とすることはできません。
- ・組曲について、任意の複数曲を抜粋して1曲とすることができます。全曲または1曲でも可能ですが、曲間は制限時間に含まれます。

■ 演奏規定

- ・ソロ部門は暗譜演奏。
- ・デュオ部門は楽譜を見ても良いですが、譜めくりが必要な場合は出場者で用意してください。
- ・申請された曲は変更できません。
- ・「予選」「本選」とも同一曲を演奏してください。
- ・演奏時間が超過した場合は失格となります。
- ・申請された曲と異なる場合は失格となります。

■ ピアノ椅子について

- ・トムソン椅子（背もたれ付き高低椅子）を使用。
- ・小学3・4年生以下は付き添いの方による高さ調節が可能です。
- ・小学5年生以上の出場者は、本人が高さ調節をしてください。

■ 補助ペダル（足置き台）について

- ・補助ペダル、足台を用意していますが、できるだけ普段お使いのものをご持参されることをお勧めいたします。
- ・付き添いの方がセッティングをすみやかにこなってください。

■ 予選について

各部門の本選出場者を非公開で選考します。
予選結果と講評は、各部門の審査終了後にお渡しします。

【日程】① 2021年2月6日（土）

② 2021年2月7日（日）

- ・①は未就学児、小学1・2年生、一般A、一般P、連弾A、連弾B
 - ・②は小学3・4年生、小学5・6年生、中学生、高校生、連弾C
- ・時間帯についての希望は受けられません。

【会場】 京田辺市中央公民館大ホール

【審査委員】 井上 まゆみ先生、古新 薫先生、城 沙織先生、種子尾 由里先生

■ 本選について

公開の演奏で各部門の受賞者および受賞記念コンサート出場者を選考します。
表彰式は全ての本選審査終了後に行います。

【日程】 2021年3月21日（日）

【会場】 京田辺市中央公民館大ホール

【審査委員長】 田村 響先生

【審査委員】 片山 優陽先生、芹澤 佳司先生

【表彰】 参加者全員に、参加賞・審査委員による講評をお渡しします。

- ・賞 金賞、銀賞、銅賞、奨励賞、入選
- ・指導者賞（各部門金賞受賞者の指導者）

■ 受賞記念コンサート

ソロ部門の金賞受賞者は京田辺市音楽コンクール祝祭管弦楽団とともにコンチェルトを披露していただきます。
デュオ部門の金賞受賞者は連弾曲を披露していただきます。

受賞記念コンサート出場には参加料はかかりません。

【日時】2021年8月11日(祝・水) [予定]

【場所】京田辺市中央公民館大ホール [予定]

【演奏曲】

〈ソロ部門の金賞受賞者〉

京田辺市音楽コンクール祝祭管弦楽団と共演していただきます。

ブルグミュラーやソナチネをアレンジしたもの、バッハ・モーツァルト・ハイドン・ショパン・リスト・グリーグ作曲の協奏曲の候補曲から選んでいただけます。

〈デュオ部門の金賞受賞者〉

コンクールと同じ制限時間内の自由曲を演奏していただきます。コンクールの曲と同一でなくても構いません。

【指揮】 関谷弘志氏 (元同志社女子大学音楽学科教授)

パリ・エコール・ノルマルのフルート科を卒業。大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー)のフルート奏者を務めた後、指揮を志し東京音楽大学指揮科を卒業。三石精一・広上淳一両氏に師事。仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者、オーケストラアンサンブル金沢の専属指揮者を歴任。リスボン国際指揮者コンクール入賞のほか、プロコフィエフ国際コンクール、カトヴィツェ指揮者コンクールなどでも受賞。現在までに、ロシアシンフォニーオーケストラ、リスボンメトロポリタンオーケストラ、ハイファシンフォニー(イスラエル)等海外をはじめ、国内の主要オーケストラに多数客演している。



【管弦楽団】

京田辺市音楽コンクール祝祭管弦楽団

■ 申し込み方法

- ・NPO 法人京田辺音楽家協会 HP 内「京田辺市音楽コンクール申し込みフォーム」より、締め切り期日までにお申し込みください。参加料をお支払いいただいた時点で受付完了となります。
- ・申し込み後のご辞退については参加料の返却は出来ません。
- ・新型コロナウイルスに係る状況等により、予定の変更等をさせていただくこともありますので予め、ご了承くださいませようをお願いいたします。

■ 申し込み期間

2020年11月1日(日)~2021年1月25日(月)

ただし、各部門とも参加定員に達した場合は受付終了とさせていただきます。

「京田辺市音楽コンクールホームページ」<http://www.kyotanabe-musicians.org/>



■ 審査委員長

田村 響先生 (*hibiki tamura*)

2002年ピティナ・ピアノコンペティション全国大会特級グランプリ。エトリンゲン青少年国際ピアノコンクール第2位、第18回園田高弘賞ピアノ・コンクール第1位。2007年ロン・ティボー国際コンクールにて優勝。NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団をはじめとする全国の主要オーケストラ、ケルン放送交響楽団、カンヌ管弦楽団、トリヤッティ・フィルハーモニー管弦楽団、カイロ交響楽団、ベトナム国立交響楽団などと共演。演奏活動はフランス、ドイツ、オーストリア、ポーランド、オランダ、イタリア、ロシア、エジプト、ブラジル、中国、台湾、ベトナムに及ぶ。

アリオン賞、出光音楽賞、文化庁長官表彰・国際芸術部門、安城市市民栄誉賞、ホテルオークラ音楽賞、文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞、京都市芸術新人賞を受賞。京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学特任講師、名古屋音楽大学客員准教授。



■ 本選審査委員

片山 優陽先生 (*masashi katayama*)

県立西宮高校音楽科、モーツァルトウム音楽大学、モスクワ音楽院を経て、ハノーファー国立音大へ首席で編入し卒業。北野完一、服部久美子、C. ソアレス、H. ライグラフ、E. マリーニン、A. ガヴリーロヴァ、V. クライネフ各氏に師事。全日本学生音楽コンクール高校の部西日本1位、セニガリア国際コンクール3位、ブゾーニ国際コンクール、ロン・ティボー国際コンクールに入選。アンドレイ・ガヴリーロフの助手を務め、ルツェルン祝祭弦楽合奏団と共演等、12年の海外研鑽を経て、現在、大阪芸術大学の講師を務める中、オーストリア、ロシア、韓国、ポーランド等、国内と海外の両方を拠点に活動中。ウィーンのロザリオ・マルシアーノ国際コンクール、ポーランドのクログススキー国際コンクール各審査員。昨年にポーランドのタルヌフ室内管弦楽団を指揮し、指揮者としてもデビュー。同管弦楽団の正式な客員指揮者として今年度の演奏契約を結ぶ。CDアルバム「展覧会の絵」がオクタヴィア・レコードより発売中。



© オクタヴィア・レコード Inc.

芹澤 佳司先生 (*keiji serizawa*)

東京藝術大学大学院修士課程を修了。大学院在学中にロームミュージック財団より奨学金を受け、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。第3回ABC新人コンサートで最優秀賞を受賞。第41回マリアカナルス国際コンクール、及び第2回プロコフィエフ国際コンクールで第2位入賞。2003年より作曲家シリーズとして、プロコフィエフ、バルトーク、ブラームス、ベートーヴェン、リスト、シューマン、シューベルト、ショパン、バッハの作品を取り上げ、好評を博す。演奏活動の他には、全日本学生音楽コンクール、ピティナピアノコンペティションなど多くのコンクール審査に携わる。これまでに、高橋八代、前田環子、辛島輝治、R・ケーラー、O・マイセンベルグ、M・クリストの各氏に師事。現在、大阪音楽大学大学院ピアノ研究室主任教授、大阪音楽大学ピアノ演奏家特別コースチーフ。



■ 予選審査委員

井上 まゆみ先生 (*mayumi inoue*)

京都市立芸術大学、及びウィーン国立音楽大学コンサートピアノ科卒業。1981年、舞鶴、京都にてデビューリサイタル。以後京都、東京などにてリサイタルを開催。また、東京ソリスト、日本フィルハーモニー管弦楽団、京都フィルハーモニー室内楽団と協演。1997年、「井上まゆみピアノトリオ」を結成、ヴァイオリンの日比浩一、チェロの雨田一孝と共に毎年テーマを決めて演奏を続けている。その20年の活動に対して、第37回藤堂音楽賞を受賞。1982年～2019年まで、京都市立芸術大学にて後進の指導を行なった。小島早苗、吉田輝子、園田高広、エドゥアルド・ムラチェック、クラウス・シルデ各氏に師事。現在、京都女子大学非常勤講師。



古新 薫先生 (*kaoru konin*)

京都市立堀川高校音楽科（現京都市立京都堀川音楽高校）を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。NHK洋楽オーディション合格。NHK-FM「午後のリサイタル」に出演。ハンブルクにてコンラート・ハンゼン教授マイスタークラス、京都フランス音楽アカデミー、K・ゲキチサマースクール参加。ソロリサイタル・ピアノデュオ・伴奏・室内楽等で活動。「京都芸術祭」において亀岡市長賞・京都府知事賞受賞。故 吉田輝子、故 岩淵洋子、故 園田高弘、J・デームス、B・ベクテレフ、K・ゲキチの各氏に師事。京都市立京都堀川音楽高等学校、京都文教短期大学非常勤講師。



城 沙織先生 (*saori jyo*)

兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、神戸女学院大学音楽学部、及び同大学大学院音楽研究科修士課程をともに首席で修了。大学、及び大学院修了時にハンナ・ギュリック・スエヒロ記念賞受賞、奨学金授与。大学推薦により訪米、ミネアポリス、シカゴ、在シカゴ日本国総領事館での公演や、日本・オマーン外交関係40周年記念事業として、在オマーン日本国大使館主催の演奏会等、国内外で多数公演。テレマン室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団と共演。兵庫県より平成26年度ひょうごアーティストサロン賞受賞。ソロだけでなく、声楽や室内楽の分野で多くの演奏家との共演や伴奏ピアニストとして幅広く活動中。これまでに成瀬修、ポリス・ベクテレフ、セルゲイ・ミルシュタインの各氏に師事。現在、兵庫県立西宮高等学校音楽科講師として後進の指導にもあたる。



種子尾 由里先生 (*yuri taneo*)

桐朋学園女子高等学校（共学）ピアノ専攻卒業桐朋学園演奏学科ピアノ専攻卒業。ウィーン講習参加。関西フィルと共演。国際音楽芸術家協会主催チャリティでコンチェルト演奏。その他ジョイントリサイタル、コンチェルトに出演。現在・石山高等学校音楽科・滋賀短期大学 非常勤講師。全日本指導者協会（PTNA）ステップアドバイザー、コンベンション審査員。日本クラシックコンクール審査員。バッハコンクール審査員。

